

内分泌代謝内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8 : 30 (月曜日が祝日の場合, 火曜日 8 : 30 に集合)
- (2) 集合場所 第 4 研究棟 1 階 101

2 実習概要 (実習内容)

(1) 外来実習

単独で外来初診患者の予診を担当し, 医行為 (医療面接や診察を行いプロブレムリストの作成と仮診断) を行う。続いて確定診断に必要な検査計画を立案し, 外来担当医の診察に陪席する。診療後, 外来担当医よりフィードバックを受け, 外来診療に必要な知識, 技能を取得する。

(2) 病棟実習

常時, 複数人の患者を主治医に準じて担当し, 日々の診療を行い患者の病態を把握しカルテ記載, 検査計画の立案などを行う。上級者の指導を受け, 治療行為に必要な知識, 技能を習得する。5 年生が担当する入院患者全員を上級実習生として指導的立場で担当し, 5 年生に助言・指導を行う。

朝のミーティングでは担当患者について日々の経過を上級医にプレゼンテーションし, 病棟回診前カンファレンスでは, 1 週間の経過, 検査・治療計画の報告, 質疑応答などを行い, 医療従事者に必要な情報伝達能力を習得する。多職種チームカンファレンスに参加・発言し多職種連携に医師として求められるスキルを習得する。時間内の内分泌救急疾/緊急入院患者を上級医と共に担当し, 診察・検査計画立案を行い, 病態把握に必要な臨床推論能力を取得する。

症例検討会において, 司会や症例提示, 考察の発表を行う。また, 担当患者の中から症例を選び, 学会発表に準じたスライド作成とプレゼンテーションを行い, 学会活動や生涯教育に必要な発表能力や情報収集能力を獲得する。

(3) シミュレーターを用いた実習

シミュレーターを用いて, 医学教育モデルコアカリキュラムに示されて診断の基本項目について臨床推論技能を取得する。

(4) オンライン実習

バーチャル症例により典型症例の問診, 診察, 検査計画を立案し, 鑑別診断や診断のプロセスを学ぶ。

他大学共同プログラムでは, 症例報告英語論文を読みディスカッションを行う。論文読解に能力の獲得と症例に対する理解を深める。

動画閲覧により最新の糖尿病治療の考え方について学び, フィードバックを受け理解を深める。

3 GIO（一般目標9）

内分泌代謝疾患の医療従事に必要な医療技能を習得する。

4 SBO（到達目標）

- (1) 医療面接，診察，検査を行うことが出来る。
- (2) 診察所見，検査結果を解釈し，問題点を列挙することが出来る。
- (3) 診断・治療に必要な検査計画を立案することが出来る。
- (4) (1)～(3)の内容をカルテに記載，プレゼンテーションすることが出来る。
- (5) 指導医，看護師等の医療従事者に対し，医療の遂行に必要な情報伝達ができる。
- (6) 文献等の医療情報の収取ができる。
- (7) 上級医の役割が理解できる。

5 スケジュール

曜日	午前	午後
月	オリエンテーション（1週目） 2週目以降教授フィードバック	糖尿病カンファレンス インスリン/SMBG使用方法（1週目）
火	入退院カンファ・回診 病棟患者血糖測定・インスリン手技 確認（4週間に1回）	症例検討会 抄読会（1・3週）
水	※バーチャル症例 外来予診	臨床推論1（4週間に1回） 甲状腺エコー（4週間に1回）
木	朝ミーティング ※バーチャル症例（2・4週目）	
金	教授フィードバック 症例発表（4週目）	臨床推論2（4週間に1回） ※他大学共同NEJM抄読会（1・3週目） まとめ（4種目）

※オンライン実習

担当教員：金崎，山本，守田，野津，石原，他

担当教員や実習内容の詳細については，グループ毎に初日に説明する。

6 評価法

出席，実習態度，プレゼンテーション，症例検討会，診療記録などを総合して判断する。

7 その他注意事項等

医療従事者（student doctor）である自覚を持つこと。